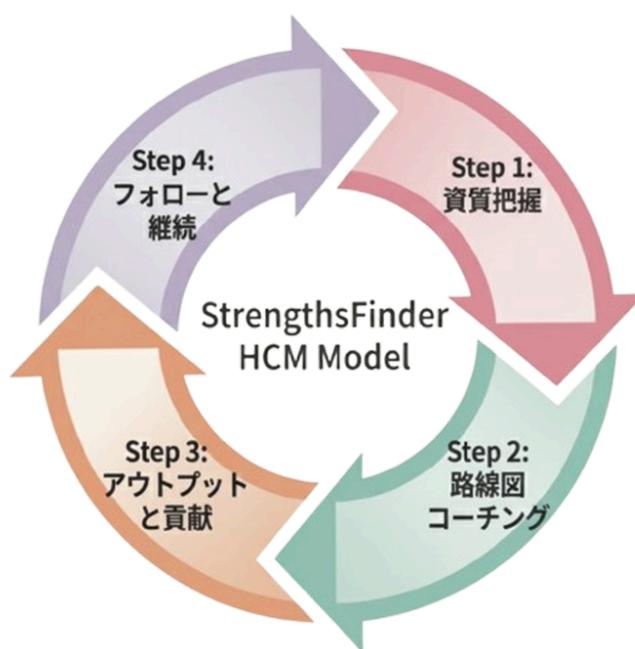


【人的資本経営モデル】全社員100%導入「ストレングスファインダー」で資質を最大限に活用！成長と組織貢献を両立する独自の活用モデルを初公開



～ HCMとESGの連動を加速。企業価値向上に向け「サステナビリティページ」も刷新し、強みを活かす戦略と具体的な成果を積極開示 ～

▼ エムダブのサステナビリティ(ESGの取り組み)ページ
<https://www.webkikaku.com/sustainability.php>

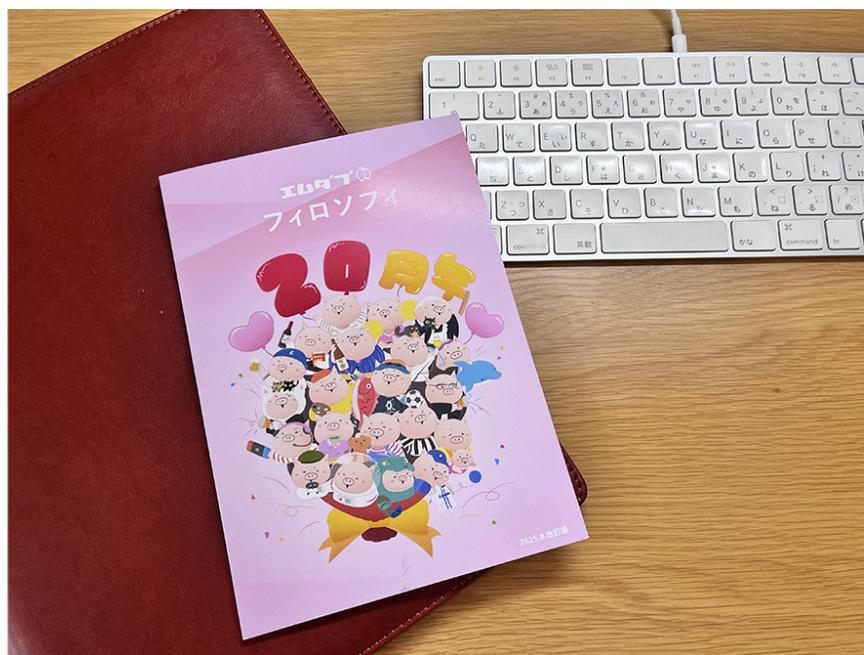
大阪のWEB制作会社 エムダブ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役:森岡 昇馬)は、人的資本経営(HCM)の中核戦略として、全社員に「ストレングスファインダー(クリフトンストレングス)」を100%導入し、個人の資質を組織貢献に直結させる独自の成功モデルを確立しました。

このモデルは、専門家による個別「路線図コーチング」と企業理念(フィロソフィー)実践を融合させ、個人の資質を組織貢献に直結させるものです。リソースが限られる中小企業(SME)が多様な人材の活躍と持続的成長を両立するためのロードマップを提示。また、本戦略の透明性を高めるため、この度サステナビリティページを刷新・公開いたしました。

全社員100%導入を基盤とし、SFで把握した個人の資質を、経営目標と日々の業務に戦略的に連動させるため、以下の具体的なステップを踏んでいます。

ステップ	施策の具体性	目的と組織への効果
Step 1: 資質把握	全社員が「クリフトンストレングス34」を受検し、上位資質を明確化。	組織内の「強み」の共通言語を確立し、相互理解の土台を構築。
Step 2: 専門家による「路線図コーチング」	社員一人ひとりが専門家から個別セッションを受講。資質を「発動から実行(影響)までのフローを路線図にして指導」し、最終的に業務に落とし込む視点を徹底。	強みの具体的な実務への適用方法を習得し、自己肯定感とエンゲージメントを向上。
Step 3: 全社員へのアウトプット	セッション後、作成した資料に基づき、月例会議にて「その資質を活かして会社にどのように貢献できるか」を全社員へ具体的に発表。	個人の強みを具体的な「組織貢献策」に変換し、メンバー間の連携と自律的な貢献意識を促進。

2. 強みを活かす経営基盤の構築(承・転)



2.1. 企業理念(フィロソフィー)との融合

当社は、35のテーマからなる「フィロソフィー」を定め、毎週の朝礼で従業員自らの言葉で語り合う場

を設けています。SFで把握した個人の強みは、このフィロソフィーを日々の業務で実践するための「行動指針」として活用され、資質を企業理念の実現に結びつけることで、健全で透明性のある組織風土が築かれています。

2.2. 強固なESG/S施策とウェルビーイングの確保

SF活用モデルが機能し成功を収めている背景には、以前から整備されてきた強固な社会性(S)とガバナンス(G)の基盤があります。

- 多様性と柔軟な働き方の支援：子育て世代の女性が通勤の負担なく働けるよう、在宅ワークを積極導入し、柔軟な雇用形態に対応。未経験者向けの社内研修制度も充実させ、ICTを活用した女性のスキルアップを支援しています。これらの取り組みは、大阪市「女性活躍リーディングカンパニー」認定、および大阪府「男女いきいき・元気宣言」事業者登録を受けています。
- 健康経営の推進：リモートワーク環境下でも心身の健康を確保するため、毎週の朝礼でストレッチや体操を導入。「健康経営優良法人」および「スポーツエールカンパニー」に認定されており、ウェルビーイングを重視する企業文化が、個人の強みを安定的に発揮させる基盤となっています。
- 経営層による専門的なコミットメント：社長をはじめ、8名のスタッフが「ESGアドバイザー」の資格を取得しており、HCM戦略が戦略的かつ倫理的に実行されていることを示しています。

3. 代表取締役コメントと今後の展望(転・展)

エムダブ株式会社 代表取締役 森岡 昇馬



実は数年前に資質把握の取り組みを社内でやっていた時期がありますが、あくまでも自分中心の活用に留まっていました。しかし、2023年に「会社って一つの生命体なんだ」と思う出来事があり、お互

いの強みをそれぞれが活かし合えるようにしたいと強く考えるようになりました。

この「路線図コーチング」を導入してからの最初の変化は、社員が「弱みの領域を隠さずに開示し始めたこと」です。通常は隠したい領域ですが、そこを「社内で言ってもいいんだ」「誰かに助けてもらっていいんだ」と一人一人が思ってくれるようになったのは、大きな手応えだと感じています。また、この考え方に共感して入社いただく方も増え、エムダブとは？という組織像がだんだん揃ってきた気がします。

日本の教育は、弱みの克服にすごい時間と労力を割いているなーと感じています。本来の自分の強みをどんどん発揮したほうが、みんなイキイキするし、幸せになっていけると思っています。エムダブだけが良ければ良いとは思っていません。自分たちが進んできたことがたくさんの方のお役にたてるようにしていければ、【一人一人が命輝く社会作り】に貢献できると信じています。

◆ 会社概要

エムダブ株式会社は、「あなたの会社の魅力をWEBでカタチにしていく」をモットーに、2005年1月に創業された大阪のWEBサイト制作会社です。中小企業を中心に、オーダーメイドでのサイト新規構築・リニューアルから、公開後の管理・運用代行までをワンストップで提供。単に制作するだけでなく、お客様のビジネスに寄り添う「“想い”をカタチにするWEB制作会社」として、プロの視点からの提案を大切にしています。近年はサステナビリティ情報の発信支援にも力を入れ、企業の価値向上に貢献しています。

- 会社名: エムダブ株式会社
- 所在地: 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-15-4 ローツェII 303号室
- 代表者: 代表取締役 森岡 昇馬
- 創業: 2005年1月
- 事業内容: WEBサイトの企画・制作・運用管理、システム開発等
- コーポレートサイト: <https://www.webkikaku.com/>
- エムダブのサステナビリティ(ESGの取り組み)ページ: <https://www.webkikaku.com/sustainability.php>

※以下、メディア関係者限定の特記情報です。個人のSNS等での情報公開はご遠慮ください。

【メディア関係者の皆様へ】

本件は、現在注目の集まる「人的資本経営」と「ESG情報開示」をテーマに、多角的な切り口で報じていただけるテーマです。

・中小企業のHCM実践論

リソースに限られるSMEが、SF100%導入という“異例の深度”でいかに結果を出すか。

・独自性の高い運用モデル

強みを「組織への貢献経路」として可視化する「路線図コーチング」と企業理念(フィロソフィー)の融合。

・透明性の向上

人的資本戦略の詳細を公開したサステナビリティページの刷新が示す、企業価値向上のコミットメント。

代表取締役森岡 昇馬へのインタビューも積極的に受け付けております。ぜひこの機会にお問い合わせください。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

エムダブ株式会社 広報担当(小八重・菅家)

TEL: 06-6372-3373

Email: [広報担当者メールアドレス] koushin@webkikaku.com